

技術向上と業界発展に情熱注ぐ 顧客第一に職人氣質を貫く

テクノ・オーシャン(株) [兵庫県伊丹市]

ナノテクノロジー(超微細技術)により水および燃料の質的向上を図る電子波処理装置「TeO(テオ)シリーズ」を販売・施工するテクノ・オーシャン(株)。「水専用装置」「燃料専用装置」の2種類をラインナップし、現在ではレジャーホテルのほか、シティホテル、ビジネスホテル、各種大型工場、スイミングクラブ、温浴施設など豊富な導入実績を誇る、ナノテクノロジーの第一人者だ。なかでもレジャーホテル業界とは会社設立当初から取引があり、愛着も深いようだ。これまでに全国約140店以上のレジャーホテルに導入。スケール・スライム剥離と保湿・浸透作用および、燃料費削減などのコストダウンに寄与している。

会社設立の直後から業界参入 信頼を得ることで受注増

——レジャーホテル業界に関わることになったきっかけは。

テクノ・オーシャン(以下、T) 会社を設立して間もない2002年に、総合ユニコムの元部長さんから強く勧められて、「レジャーホテルフェア2002」に出展したのが最初です。わが社は、ナノレベルでの水や燃料の分子振動により配管やボイラー内のスケール(シリカ、カルシウム、赤さびなど)を除去したり、燃料効率を向上させるナノテクノロジーを用いた電子波処理装置を専門に扱う会社として、ちょうど02年に法人化したばかりでした。ですから、わが社にとってはレジャーホテル業界が最初の主要取引先となります。

——当時はまだ「ナノテクノロジー」という言葉は、いまのように一般的ではありませんでした。

T 同フェアでも「そもそもナノテクノロジーとは」ということから説明しな

ければなりませんでしたが、実際に蛇口から出る赤さびの問題で悩んでいたりと、従来の水質浄化装置では効果がなくて困っているホテルオーナー様が相談にいらっしゃって、私どもの説明を聞いて「ぜひ導入したい」と言っていただきました。その年のフェアでは10店舗の契約に結びつき、そのお陰で会社を軌道に乗せることができました。

——それだけ、配管等の設備問題で悩んでいるホテルが多かったということですね。

T 世の中にはいろいろな水質改善装置が出回っていますが、パンフレットだけ見比べても同じようなことしか書かれていません。ですから、お客さまはどれがいいのかわからず、最終的に売込みが巧いメーカーの装置を導入してしまがちです。

でも、フェアなどで直接説明させてもらえれば、お客さまも納得して導入していただけると確信しました。

——どのように納得していただくのですか。

T ナノテクノロジーの作用に関して丁寧な説明をするのはもちろんですが、



ナノテクの大型テクニカルカーで全国対応

たとえばホテルを10店舗所有するオーナー様には、「いちばん問題がありそうなホテル1店舗に、まず導入してみましよう」という勧め方をします。もちろん、絶対に無理強いせず、お客さまが納得したうえで取付けします。実際、5年間悩んだうえで導入されたお客さまもいらっしゃいました。

また導入の際には、効果が実感できない場合は返品を受け付けるという内容で、契約書、確約書、保証書を交わしています。

設備関連の問題解決と コストダウンに寄与

——取付けは、どのような手順で行なわれるのですか。

T まず最初に、導入先のホテルに実際に出向いて現場下見をしたうえで、見積りを作成します。ホテルによって配管やボイラーといった設備の規模も構造も異なり、ホテルが大規模だからといって装置を何台も導入しないといけないうわけでもありません。設備の配置によっては

■会社概要

会社名/テクノ・オーシャン(株)

住所/兵庫県伊丹市野間6-2-12

設立/2002年6月

資本金/2700万円

業務内容/電子波処理装置

「TeO (テオ) シリーズ」の販売・施工

「レジャーホテルフェア」への出展がきっかけとなり、レジャーホテルとの付き合いが始まる



ホテルの設備状況を確認し、最適な導入を実施する



少ない台数で済む場合もありますし、逆に小規模なホテルでも複数台導入しないといけないこともあります。ケース・バイ・ケースなので、そのホテルに最も適した方法を提案しています。

——最近「ナノテクノロジー」という言葉も一般に認知されてきました。「ナノ水は肌への保湿浸透作用がある」とも言われ、レジャーホテルにとっても集客アイテムのひとつになっています。

T ただ、私どもとしては、あくまで配管やボイラーといった施設の問題解決と、ホテル運営におけるコストダウンのためのお手伝いをするというのが基本姿勢です。ナノ水の保湿浸透といった作用は、あくまで付帯効果。ホテルオーナー様がそれを集客に利用するのは自由で、私どもがアピールすることはありませんが、基本的な集客ラミネートと耐水シールはお渡ししています。

コストダウンといえば、「燃料専用装置」も燃料費高騰のなかでコストダウンに作用を発揮します。レジャーホテルも競争が激化するなかで、いかに利益をあ

げるかが重要となっています。

▶ 技術力向上に切磋琢磨し
▶ あくまで裏方に徹する

——レジャーホテル業界参入から10年が経って、テクノ・オーシャンの名前も業界で根づいてきたのでは。

T 参入して8年目くらいから、口コミでのお客さまがふえはじめました。長く使うほど作用を実感していただけるようです。最近では、レジャーホテルフェアの出展ブースで、以前導入していただいたお客さまが新しいお客さまを連れてきたり、そうしたお客さま同士が再会して情報交換をしたり、お客さまとは家族のような感覚でお付き合いをさせていただいております。

——今後、業務拡大の予定はないのですか。

T ありません。そもそも私どもの扱う電子波処理装置テオは、金属や設備、ボイラー、電気、電子設置抵抗、静電気などさまざまな知識がないと説明も施工もできないものです。いまから新しい人材を入れて教育するのはむずかしいので

す。たとえば専門の社員を増やしたらどうかとよく勧められるのですが、組織が大きくなると利益追求に走って本当にお客さまの現状に適した提案ができなくなります。そうなるくらいなら現状のまま、適正価格で地道に業界のお役に立てればと考えています。私どもはあくまで、ホテルを支える裏方ですから、表に出る必要はありません。取扱商品も、会社設立前から一貫してこの電子波処理装置テオのみです。でも、それがホテルオーナー様の役に立つのなら、それをひたすら提供していきますし、日々技術向上に務めていきます。

私どもはレジャーホテル業界との出会いがきっかけで事業を続けることができていますので、今後も問題解決をしたいのです。そして最終的には、私どもの技術を通した社会貢献ができればと考えています。そのために必要なのは業務拡大などではなく、技術向上のための日々の努力です。そのために、私どもは今後も情熱をかけて真剣に取り組んでいきます。——本日はありがとうございました。